

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 新規・拡充 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7 局・課名： 建設局・土木監理課

事業名	道路附属物(案内標識・道路照明灯)更新事業	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
		0	0	160,000		
事業概要	【目的】	債務負担行為		期間	要求額(千円)	
	<p>本市が管理する道路附属物(案内標識、道路照明灯)は、建設から相当年数が経過し、老朽化による倒壊や、支柱の損傷が進行している。堺市公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、判定の悪いものから計画的に建替することで、メンテナンスサイクル(点検→診断→更新→記録)を構築し、限りある財源を有効活用すべく、国の新しい起債を活用し、老朽化による事故を未然に防ぐ安全・安心のまちづくりを目指す。</p> <p>【内容】 本事業は、道路附属物の定期点検に基づく、予防保全対策及び事後保全対策を行う。1巡目の定期点検の結果、Ⅲ判定(早期措置段階)の道路附属物が多数発見されたことを受け、まず、Ⅲ判定の道路附属物を対象に、平成30年度～平成33年度の4か年で計画的に建替を実施する。</p> <p>[H30～33] 道路照明灯:371基、案内標識:10基 [H34～] 2巡目の定期点検の結果に伴うⅢ判定の更新、Ⅱ判定の予防保全対策</p> <p>【今年度の要求ポイント】 平成26年度から平成28年度で点検を実施した結果、大きな穴が空くなどⅣ判定(緊急措置段階)の道路附属物が24基発見され、直ちに建替対応した。さらに、小さな穴が空くなどⅢ判定(早期措置段階)の附属物が道路照明灯371基、案内標識10基見つかっており、早急に対応が必要となっている。このような危険な状態の道路附属物の倒壊を防ぐため、予算の平準化も踏まえた更新事業の予算要求をするのもである。なお、財源には、今年度国が創設した公共施設等適正管理推進事業債を活用する。</p>	H ~ H				
		主な要求内容		(単位:千円)		
		項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
		工事費(道路照明灯)	0	120,000	照明灯の建替費(100基)	
		工事費(案内標識)	0	40,000	案内標識の建替費(10基)	
		合計	0	160,000		
		スケジュール(経過及び今後展開)				
【経過(～29年度)】 ・H26年度、道路法改正に伴う定期点検の義務化 ・H28年度、公共施設等総合管理計画策定及び、個別施設計画(案内標識)策定 ・H29年度、個別施設計画(照明灯)策定		【30年度】 ・更新事業開始(照明灯100基、案内標識10基) ・定期点検の実施		【今後予定(31年度～)】 ・更新事業(照明灯271基) ・定期点検の実施		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業：						